本資料の正文は運用会社作成の英文資料です。記載内容は英文が優先しますので、必ずご確認ください。

FIXD

2026/6/30

ファーストトラスト Smith オポチュニスティック債券ETF

» ファンドの目的

この上場投資信託（ETF）は、長期的トータルリターンの最大化を目指します。

» ファンド概要

ファンドティッカー	FIXD
ISIN	US33740F8059
CUSIP	33740F805
iNAVティッカー	FIXDIV
ファンド設定日	2017/02/14
総経費率^	0.65%
30日SEC利回り†	4.50%
主要取引所	Nasdaq

» ファンド詳細

» 当ファンドは、アクティブ運用型の上場投資信託（ETF）です。

» ファンドは純資産総額（投資を目的とした借入を含む）の80%以上をフィクスト・インカム証券に投資することにより、長期的なトータル・リターンの最大化を目指します。

» ファンド・サブ・アドバイザー、Smith Capital Investors,LLC（以下「スミス・キャピタル」または「サブ・アドバイザー」）は債券市場の質、セクター、クーポン、満期などに基づき、相対的に魅力的であると思われる分野にポートフォリオの保有残高を集中させるよう努めます。

» 投資プロセスでは、個々の信用エクスポージャーに関するボトムアップ分析から始まり、トップダウンのマクロ経済評価を適用します。

» この投資哲学を実践する上で、スミス・キャピタルは次の点を重視しています。債券ポートフォリオが市場環境の変化に合わせて積極的に運用されること。個々の投資決定が綿密なファンダメンタルズ分析と規律あるリスク・フレームワークに基づいて下されること。不必要なリスクが最小限に抑制されること。投資ポートフォリオが透明性を持ち、説明可能で、広範な独自調査に根ざした確信度の高い投資アイデアに基づいて構築されること ：

- 証券の選択とセクター・ローテーション：スミス・キャピタルは、リスク調整後リターンのポテンシャルが魅力的な機会を求め、債券セクター全体で最適なエクスポージャーを追求します。
- アクティブ・デュレーションとイールドカーブ管理：戦術的なデュレーションの調整により、市場サイクル全体のリスク管理を図り、リターンの向上を追求します。
- マクロ・オーバーレイとボトムアップ分析：マクロ経済に関する洞察と綿密なファンダメンタルズ・クレジット・リサーチを組み合わせた二重のアプローチにより、強固なポートフォリオの構築を目指します。
- リスク管理とポートフォリオ分析：投資決定の指針となる独自のモデルとリスクツールにより、さまざまな環境下でも回復力が維持されるポートフォリオの構築を目指します。

» ファンド・サブ・アドバイザー

» Smith Capital Investors,LLCはファンドのサブ・アドバイザーであり、ファンドのポートフォリオを管理します。

- Smith Capitalの投資哲学は、リスク調整後リターンと資本保全に重点を置き、規律あるファンダメンタルズ重視の投資戦略によって結果を出すことを基本としています。

» 日々の投資決定は、以下によって行われます:

- ギブソン・スミス、創業者、最高経営責任者、最高投資責任者、ポートフォリオマネージャー
- エリック・バーナム、CFA、ポートフォリオマネージャー

» パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額(NAV)	1.16	0.87	4.09	4.20	-0.39	—	1.90
市場価格	1.18	0.66	4.09	4.05	-0.41	—	1.89
指数パフォーマンス**							
Bloomberg US Aggregate Bond Index	0.67	0.62	3.79	4.16	0.08	—	1.90

» 年次トータルリターン(%)[1]

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	年初来
FIXD	—	—	0.23	8.96	9.15	-1.12	-15.35	5.71	0.92	7.57	0.87
Bloomberg US Aggregate Bond Index	—	—	0.01	8.72	7.51	-1.54	-13.01	5.53	1.25	7.30	0.62

引用されているパフォーマンスデータは過去のものです。過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は *www.ftportfolios.jp* から確認できます。

^投資アドバイザーは一定の資産水準においてファンドの投資運用報酬を減額する報酬ブレイクポイントを導入しています。詳細につきましてはファンドの追加情報説明書をご覧下さい。ファンドの追加情報説明書は www.ftportfolios.com から入手できます。

† 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。手数料の軽減及び費用の払戻しの影響を含みます。

[1]2025年5月9日の営業終了時点をもって、投資サブアドバイザーはスミス・キャピタルに交代しました。これに伴い、スミス・キャピタルのファンドの投資目標の達成を目指す方法とスミス・キャピタルの一般的な債券投資哲学を反映するため、ファンドの運用方針の非中核部分が改定されました。従って、2025年5月9日以前のファンドのパフォーマンスおよびリターン実績は、以前の投資サブアドバイザーのポートフォリオ運用戦略に基づくファンドのパフォーマンスを反映したものであり、スミス・キャピタルのポートフォリオ運用戦略および投資方針の変更の下でファンドが達成したであろうパフォーマンスを必ずしも示すものではありません。

*基準価額（NAV）リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額（NAV）に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額（NAV）リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

**掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

本資料の正文は運用会社作成の英文資料です。記載内容は英文が優先しますので、必ずご確認ください。

ファーストトラスト Smith オポチュニスティック債券ETF

2026/6/30

» ポートフォリオ情報

保有証券数	473
加重平均実効デュレーション[1]	6.29 年
加重平均残存期間	13.68 年

» 満期別エクスポージャー(%)

0 - 0.99 年	0.40
1 - 2.99 年	7.40
3 - 4.99 年	13.80
5 - 6.99 年	8.00
7 - 9.99 年	22.80
10 - 19.99 年	15.20
20 年超	32.40

[1]金利変動に対する証券の感応度を示す尺度で、利回りが変化した場合の証券価格の変化を反映します。

[2]信用格付けは、債券、またはポートフォリオの信用力とリスクの尺度であり、発行体の財務状況に基づいて評価されます。AAA/Aaaが最も高く、Dが最も低い格付けです。該当する場合、事前払い戻し/政府機関カテゴリーには、アドバイザーによって高品質な投資適格債と見なされる債券が含まれます。該当する場合、格付けなしのカテゴリーには、全米公認格付機関によって格付けされていない債券が含まれます。複合格付出所:ブルームバーグL.P.、表示される格付けは、Moody's、S&P、Fitch、DBRSの格付けを組み合わせたものです。複合格付けの算出にあたっては、各格付け機関の格付けを均等に加重しています。算出された格付けは、各格付け機関別の提示とは異なる場合があります。

0.00%の場合は、0.01%未満の金額を示していることにご注意ください。

» 上位保有10証券(%)

U.S. Treasury Bond, 4.625%, due 11/15/2045	3.46
U.S. Treasury Bond, 4.625%, due 11/15/2055	3.30
U.S. Treasury Bond, 4.75%, due 02/15/2056	2.77
U.S. Treasury Note, 4.375%, due 05/15/2036	2.72
U.S. Treasury Bond, 4.875%, due 08/15/2045	2.46
U.S. Treasury Note, 4.125%, due 10/31/2029	2.15
U.S. Treasury Note, 4%, due 05/31/2028	1.32
THE BOEING CO 7.008%, due 05/01/2064	1.08
U.S. Treasury Bond, 4.75%, due 08/15/2055	1.01
GILDAN ACTIVEWEAR INC 5.40%, due 10/07/2035	0.82

» ファンドの構成 (%)

Corporate	52.90
U.S. Treasuries	20.70
Securitized	20.30
Preferred	5.00
Term Loans	1.00
Cash & Equivalents	0.10

» 信用格付別(%)[2]

Government/Agency	41.00
AA	1.30
AA-	1.30
A+	1.20
A	3.70
A-	7.30
BBB+	4.90
BBB	9.40
BBB-	12.80
BB+	5.80
BB	4.50
BB-	4.80
B+	1.50
B	0.20
B-	0.30

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書を入手するには、*First Trust Japan*（*www.ftportfolios.jp*）にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

資産担保証券は債務証券の一種であり、一般的に米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされておらず、特に景気後退期には、原資産またはローンのデフォルトリスクにさらされます。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

バンクローンへの投資は、他の債券と同様のリスクを伴いますが、公開情報が限られていることや、ローンの借り手がレバレッジをかけられ、市場や経済状況の変化により悪影響を受ける傾向があるため、リスクが高まる可能性があります。銀行ローンの流通市場は、不規則な取引活動、広範なビッド/アスクスプレッド、および取引決済期間の延長の対象となる可能性があります。

金利低下局面において、発行体が高利回りの債券をコールした場合、ファンドは低金利での資金運用を余儀なくされ、ファンドの収入が減少する可能性があります。

設定と償還の全部または一部が、現物ではなく現金で行われるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

担保付きローン債務（以下「CLO」）には、予想外の投資結果として、担保証券からの分配が利息やその他の支払いを行うのに十分でない可能性、担保の質の低下や債務不履行に陥る可能性、CLOへの投資が他のクラスやトランシェに劣後している可能性、投資時に証券の複雑な構造が十分に理解されておらず、発行体との間に紛争が生じる可能性など、さらなるリスクが伴います。

転換社債は、株式証券と債券の両方に関連するリスクにさらされています。転換社債の価値は、原株の市場価値によって上下する場合もあれば、発行体の金利や信用力の変化によって変動する場合もあります。

ファンドは、取引相手がその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な財務的損失が生じる可能性があります。

コベナンツライトローンは、従来のローンよりもメンテナンスコベナンツが少なく、貸し手が借り手の財務実績を監視し、特定の基準に違反した場合にデフォルトを宣言することを可能にする条件が含まれていない可能性があります。これにより、ファンドが問題を軽減し、そのような投資による損失に対するファンドのエクスポージャーを増やす能力が妨げられる可能性があります。

債務証券の発行者、またはその他の債務者が配当、利息、および/または元本の支払支払期日を守れない、または行う意思がない場合、その結果、証券の価値が下落する可能性があります。

クレジット・デフォルト・スワップへの投資は、ファンドが参照債務に直接投資した場合よりも大きなリスクを伴います。これらのリスクには、一般市場リスク、流動性リスク、カウンターパーティリスク、クレジットリスク、レバレッジリスクが含まれます。

信用格付機関が付与する格付は、当該企業の意見であり、信用力の絶対的な基準ではなく、有価証券のリスクを評価するものではありません。信用格付けを決定するプロセスにおける欠点や非効率性は、ファンドが保有する証券の信用格付けや、その認識または実際の信用リスクに悪影響を及ぼす可能性があります。

為替レートや米国以外の通貨の相対価値の変動は、ファンドの投資価値やファンドの株式の価値に影響を与える可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。イ例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

債券への投資は、保有者に発行体の信用リスクを負わせ、債券の価値は一般的に金利の変動に反比例して変動します。さらに、債券は通常、証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価が難しくなります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティリスク、バリュエーションリスク、ボラティリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大される場合があります。

ディストレスト証券は投機的であり、流動性が低いか、取引量が少ないことが多いため、評価がより困難になり、デフォルトのリスクが大きくなる可能性があります。

新興国市場の証券への投資は、一般的に投機的であると考えられており、政治、経済、規制の状況に関連する追加のリスクを伴います。

株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、市場の特定の国、企業、業界、またはセクターでのみ発生する場合もあります。

次ページにて追加リスクをご覧ください。

ファーストトラスト Smith オポチュニスティック債券ETF

リスクに関する考慮事項（続き）

エクステンション・リスクとは、金利が上昇すると、発行者（またはその他の義務を負う当事者）による特定の債務の返済が予想よりも遅くなり、これらの債務証券の価値が下落するリスクです。金利の上昇は、債券のデュレーションを長期化する傾向があり、その市場価値は金利変動に対してより敏感になります。
固定-変動金利証券とは、当初の固定配当率を設定し、当初の期間の満了時に変動配当率に転換する証券です。固定利付証券から変動利付証券は、固定利付証券よりも金利リスクに対する感応度が低い場合がありますが、一般的には、同様の固定利付証券よりも利回りが低くなります。

変動利付証券は、証券のクーポンレートが参照レートの水準に基づいて変動するように構成されています 。その結果、変動金利証券のクーポンは、金利が下がると一般的に減少し、ファンドは証券から受け取る収入が減少します。変動金利証券のクーポンレートは、証券の条件に従って定期的にリセットされます。その結果、金利が上昇する環境下では、利率のリセット頻度が低い変動金利証券は、市場金利の変動に遅れをとる可能性があります。

先物契約の市場は実質的に規制されておらず、長期間の非流動性、異常に高い取引量、および政治的介入などの他の悪影響を経験する可能性があります。先渡契約は、クレジットリスク、為替リスク、市場リスク、金利リスクなど、ファンドの基礎となる参照およびそれに伴うリスクに対するファンドのリスクエクスポージャーを増加させると同時に、カウンターパーティリスク、流動性リスク、評価リスクなどにもさらす可能性があります。

先物契約のポジションのリスクは、ファンドが預ける必要のある証拠金の比較的低いレベルと比較して非常に大きい場合があり、先物契約の比較的小さな価格変動は、証拠金の預金のサイズに比べて即時に多額の損失をもたらす可能性があります。

ハイイールド債、または「ジャンク債」は、格付けの高い証券よりも流動性が低く、市場の変動や損失リスクが大きいため、投機的と考えられています。

ファンドの収益は、金利の低下やポートフォリオにデフォルトが発生した場合に減少する可能性があります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

インフレの進行によりファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

TIPSなどのインフレ連動型債券は、他の債券と同様のリスクにさらされます。TIPSの保有者は、満期時に証券の額面価格を下回ることなく受け取れますが、ファンドの元本が以前に上方修正され、その後インフレ率が低下する期間がある流通市場でTIPSを購入した場合、ファンドが満期時に投資額よりも下回る金額を受け取り、損失を被る可能性があります。

金利リスクとは、金利の上昇により、ファンドのポートフォリオ内の債務証券の価値が下がるリスクです。金利リスクは、一般的に短期債務証券の方が低く、長期債務証券の方が高くなります。

レバレッジによって当初の投資額を超える損失の発生や、また損失率も加速する可能性があります。レバレッジは資産または資産クラスに対するファンドのエクスポージャーの増減の影響を、場合によって大幅に拡大する傾向があるため、ファンドの株式価値が変動し、市場の変動に敏感になる可能性があります。

ファンドがロンドン銀行間取引金利（LIBOR）を参照金利として使用する変動金利または変動金利の債務に投資する限り、LIBORリスクの影響を受けます。LIBORは参照レートとして利用できなくなりました。また、担保付翌日物調達金利（SOFR）を含む代替参照レートがLIBORと類似、LIBORと同額または経済的同等性を生み出すという保証はありません。LIBORの利用不可または代替された場合、特定のファンド投資価値、流動性、またはリターンに影響を与える可能性があり、ポジションの決済や新規取引の開始に関連した費用が発生する可能性があります。LIBORからの移行がファンドまたはファンドが投資する特定の商品に及ぼす潜在的な影響の予測は難しく、ファンドに損失をもたらす可能性があります。

特定のファンド投資は、転売、店頭取引、または取引量に限定がある場合、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があり、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメーカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります 。

現金を保有したり、マネーマーケットや短期証券に投資するファンドは、投資目的を達成する可能性が低く、損失を被る可能性があります。

住宅ローン関連の証券は、不動産の価値に影響を与える不利な経済的、政治的、または規制上の事象の影響を受けやすくなります。

地方債の価値は、その地域の政治、経済状況、および開発によって不利な影響を受ける可能性があります。地方債からの収入は税法の不利な変更、内国歳入庁または州税務当局による不利な解釈、または発行体のコンプライアンス違反行為などにより、課税対象と宣言される可能性があります。

非政府発行体が提供する有価証券の支払いについて、政府機関による保証はないため、発行体の信用リスクにさらされます。非政府機関系証券は「店頭」で取引されることが多く、市場が限られているため、評価が難しくなる可能性があります。

米国以外の証券発行体は、通貨変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な財務情報の欠如、米国以外の発行体に影響を与える為替管理の制限など、さらなるリスクにさらされます。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々は運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時間にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時期、または許容可能な価格で取引を終了できるという保証はありません。

OTCデリバティブは取引所で取引されないため、OTCデリバティブの当事者は、カウンターパーティリスク、流動性リスク、評価リスクの高レベルに直面します。

ポートフォリオの回転率が高いと、取引コストが高くなり、株主の税負担が大きくなる可能性があります。

優先証券は、普通株式と債券の両方の特性の一部を兼ね備えています。優先株は通常、企業収益に対する優先順位という点で他の債務商品に劣後しているため、それらの債務商品よりも大きな信用リスクにさらされます。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

期限前返済リスクとは、債務証券の発行者が予定された満期日より前に元本を返済するリスクです。前払いを認める債務証券は、ファンドが前払いの収益を低金利で再投資する必要がある場合があるため、金利が下がる期間中の利益の可能性が低くなる可能性があります。

ファンドの取引相手が債務不履行に陥り、ファンドの担保回収が遅延または妨げられた場合、または担保の価値が不十分な場合、ファンドは損失を被る可能性があります。

ファンドは、制限付き証券を短期間で売却できない場合、または現在価値を下回る価格でのみ売却できない場合があります。

ローンを発行する企業はレバレッジが高い傾向にあるため、利息の繰り延べ、債務不履行、および/または破産のリスクの影響を受けやすくなります。ローンは通常、投資適格を下回る格付けですが、格付けされていない場合もあります。その結果、これらのローンに関連するリスクは、ハイイールド債券のリスクと似ています。シニアローン市場では、貸し手の保護が弱いローンが大幅に増加しており、将来の回復価値や取引水準に影響を与える可能性があります。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な展開の影響をより受ける可能性があります。

ソブリン債への投資には、債務の返済を管理する政府当局が、期限までに元本や利息を返済する意思がない、または返済できない可能性があるため、特別なリスクが伴います。経済が不確実な時期においては、これらの証券の価格は、社債やその他の政府債務の価格よりも変動する可能性があります。

スワップ契約は、証券への直接投資よりも大きなリスクを伴う場合があり、原資産または資産が予想どおりに機能しない場合、損失につながる可能性があります。さらに、多くのスワップは店頭で取引され、流動性が低いと見なされる場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

連邦政府機関および米国政府が後援機関によって発行または保証された証券は、米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされている場合とそうでない場合があります。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

発行日未定（以下「未定」）、遅延引渡し、またはフォワード・コミットメント・ベースでの証券の購入は、投資レバレッジを生じさせ、ファンドのボラティリティとデフォルトへのエクスポージャーが高まる可能性があります。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。
スミスキャピタルインベスターズは、SECに登録された投資顧問で、ファンドのサブアドバイザーです。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供するものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

ブルームバーグ米国総合債券指数は、投資適格の米ドル建て固定利付課税債市場をカバーしていて、国債、政府関連債、企業債、MBS、ABS、CMBSなどが含まれます。

FIXD

As of 30/6/26

First Trust Smith Opportunistic Fixed Income ETF

» Fund Objective

This exchange-traded fund seeks to maximize long-term total return.

» Fund Facts

Fund Ticker	FIXD
ISIN	US33740F8059
CUSIP	33740F805
Intraday NAV	FIXDIV
Fund Inception Date	14/2/17
Total Expense Ratio^	0.65%
30-Day SEC Yield†	4.50%
Primary Listing	Nasdaq

» Fund Description

» The First Trust Smith Opportunistic Fixed Income ETF is an actively managed exchange-traded fund.

» FIXD seeks to maximize long-term total return by investing at least 80% of its net assets (including borrowings for investment purposes) in fixed income securities.

» The fund's sub-advisor, Smith Capital Investors, LLC ("Smith Capital" or "Sub-Advisor") will attempt to focus the portfolio holdings in areas of the fixed income market, based on quality, sector, coupon or maturity, that they believe to be relatively attractive.

» The investment process starts with bottom-up analysis on individual credit exposures and applies a top-down macroeconomic assessment.

» In implementing this investment philosophy, Smith Capital believes that a fixed-income portfolio should be actively managed to evolve with changing market conditions, that individual investment decisions should be based on in-depth fundamental analysis and a disciplined risk framework, that unnecessary risk should be minimized, and that investment portfolios should be transparent, explainable, and built on high-conviction investment ideas rooted in extensive proprietary research with:

- **Security Selection & Sector Rotation**: Smith Capital seeks opportunities where risk-adjusted return potential is attractive, seeking optimal exposure across fixed income sectors.
- **Active Duration & Yield Curve Management**: Tactical duration adjustments may allow for the potential for enhanced returns while seeking to manage risk across market cycles.
- **Macro Overlay & Bottom-Up Analysis**: A dual approach combines macroeconomic insights with deep fundamental credit research so as to seek to create robust portfolios.
- **Risk Management & Portfolio Analytics**: Proprietary models and risk tools guide investment decisions that seek to create portfolios that remain resilient across different environments.

» Fund Sub-Advisor

» Smith Capital Investors, LLC is the sub-advisor to the fund and will manage the fund's portfolio.

- Smith Capital's investment philosophy is based on seeking to deliver results through disciplined, fundamentally-driven investment strategies, with a focus on risk-adjusted returns and the preservation of capital.

» Daily investment decisions are made by:

- Gibson Smith, Founder, Chief Executive Officer, Chief Investment Officer and Portfolio Manager
- Eric Bernum, CFA, Portfolio Manager

» Performance Summary (%)[1]

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	1.16	0.87	4.09	4.20	-0.39	—	1.90
Market Price	1.18	0.66	4.09	4.05	-0.41	—	1.89
Index Performance**							
Bloomberg US Aggregate Bond Index	0.67	0.62	3.79	4.16	0.08	—	1.90

» Calendar Year Total Returns (%)[1]

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	YTD
FIXD	—	—	0.23	8.96	9.15	-1.12	-15.35	5.71	0.92	7.57	0.87
Bloomberg US Aggregate Bond Index	—	—	0.01	8.72	7.51	-1.54	-13.01	5.53	1.25	7.30	0.62

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

^The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details. You can obtain the fund's Statement of Additional Information by visiting www.ftportfolios.jp.

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period and includes the effects of fee waivers and expense reimbursements.

[1]As of the close of business on 9 May 2025, Smith Capital replaced the fund's previous investment sub-advisor and certain non-fundamental investment policies of the fund were revised to reflect the way in which Smith Capital will seek to achieve the fund's investment objective and to reflect Smith Capital's general fixed income investment philosophy. Therefore, fund performance and historical returns shown above that incorporate fund performance prior to 9 May 2025 reflect performance of the fund based on the portfolio management strategy of the previous investment sub-advisor and are not necessarily indicative of the performance that the fund would have generated under the portfolio management strategy of Smith Capital and the related investment policy changes.

***NAV** returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. **Market Price** returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

First Trust Smith Opportunistic Fixed Income ETF

As of 30/6/26

» Portfolio Information

Number Of Holdings	473
Weighted Average Effective Duration[1]	6.29 Years
Weighted Average Maturity	13.68 Years

» Maturity Exposure (%)

0 - 0.99 Years	0.40
1 - 2.99 Years	7.40
3 - 4.99 Years	13.80
5 - 6.99 Years	8.00
7 - 9.99 Years	22.80
10 - 19.99 Years	15.20
20 Years & Over	32.40

[1]A measure of a security's sensitivity to interest rate changes that reflects the change in a security's price given a change in yield.

[2]Credit Quality is a measure of credit worthiness and risk of a bond or portfolio, based on the issuer's financial condition. AAA/Aa is the highest and D is lowest. If applicable, the Pre-Refunded/Agency category includes bonds which are deemed high-quality investment-grade by the Advisor. If applicable, the Not Rated category includes bonds that are not rated by a Nationally Recognized Statistical Rating Organization.

Composite Rating Source: Bloomberg L.P., ratings presented are a blend of a security's Moody's, S&P, Fitch and DBRS ratings. The rating agencies are evenly weighted when calculating the composite. Ratings presented may differ when viewed on an agency-by-agency basis .

Please note that percentage of 0.00 indicates an amount less than 0.01%.

» Top Holdings (%)

U.S. Treasury Bond, 4.625%, due 11/15/2045	3.46
U.S. Treasury Bond, 4.625%, due 11/15/2055	3.30
U.S. Treasury Bond, 4.75%, due 02/15/2056	2.77
U.S. Treasury Note, 4.375%, due 05/15/2036	2.72
U.S. Treasury Bond, 4.875%, due 08/15/2045	2.46
U.S. Treasury Note, 4.125%, due 10/31/2029	2.15
U.S. Treasury Note, 4%, due 05/31/2028	1.32
THE BOEING CO 7.008%, due 05/01/2064	1.08
U.S. Treasury Bond, 4.75%, due 08/15/2055	1.01
GILDAN ACTIVEWEAR INC 5.40%, due 10/07/2035	0.82

» Fund Composition (%)

Corporate	52.90
U.S. Treasuries	20.70
Securitized	20.30
Preferred	5.00
Term Loans	1.00
Cash & Equivalents	0.10

» Credit Quality (%)[2]

Government/Agency	41.00
AA	1.30
AA-	1.30
A+	1.20
A	3.70
A-	7.30
BBB+	4.90
BBB	9.40
BBB-	12.80
BB+	5.80
BB	4.50
BB-	4.80
B+	1.50
B	0.20
B-	0.30

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan Co., Ltd. at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

Asset-backed securities are a type of debt security and are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government and are subject to the risk of default on the underlying asset or loan, particularly during periods of economic downturn.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

Investments in bank loans are subject to the same risks as other debt securities, but the risks may be heightened because of limited public information available and because loan borrowers may be leveraged and tend to be more adversely affected by changes in market or economic conditions. The secondary market for bank loans may be subject to irregular trading activity, wide bid/ask spreads and extended trade settlement periods.

During periods of falling interest rates if an issuer calls higher-yielding debt instruments, a fund may be forced to invest the proceeds at lower interest rates, likely resulting in a decline in the fund's income.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

Collateralized loan obligations ("CLOs") carry additional risks, including the possibility that distributions from collateral securities will not be adequate to make interest or other payments, the quality of the collateral may decline in value or default, the possibility that the investments in CLOs are subordinate to other classes or tranches, and the complex structure of the security may not be fully understood at the time of investment and may produce disputes with the issuer or unexpected investment results.

A convertible security is exposed to risks associated with both equity and debt securities. The value of convertibles may rise and fall with the market value of the underlying stock or vary with changes in interest rates and credit quality of the issuer.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

An issuer or other obligated party of a debt security may be unable or unwilling to make dividend, interest and/or principal payments when due and the value of a security may decline as a result.

An investment in credit default swaps involves greater risks than if a fund had invested in the reference obligation directly. These risks include general market, liquidity, counterparty, credit and leverage risks.

Ratings assigned by a credit rating agency are opinions of such entities, not absolute standards of credit quality and they do not evaluate risks of securities. Any shortcomings or inefficiencies in the process of determining credit ratings may adversely affect the credit ratings of the securities held by a fund and their perceived or actual credit risk.

Changes in currency exchange rates and the relative value of non-US currencies may affect the value of a fund's investments and the value of a fund's shares.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

Distressed securities are speculative and often illiquid or trade in low volumes and thus may be more difficult to value and pose a substantial risk of default.

Please see additional risks on the following page.

Risk Considerations (continued)

Investments in emerging market securities are generally considered speculative and involve additional risks relating to political, economic and regulatory conditions.

Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

A fund may invest in the shares of other ETFs, which involves additional expenses that would not be present in a direct investment in the underlying funds. In addition, a fund's investment performance and risks may be related to the investment performance and risks of the underlying funds.

Extension risk is the risk that, when interest rates rise, certain obligations will be paid off by the issuer (or other obligated party) more slowly than anticipated, causing the value of these debt securities to fall. Rising interest rates tend to extend the duration of debt securities, making their market value more sensitive to changes in interest rates.

Fixed-to-floating rate securities are securities that have a fixed dividend rate for an initial term that converts to a floating dividend rate upon the expiration of the initial term. While fixed-to- floating rate securities can be less sensitive to interest rate risk than fixed-rate securities they generally carry lower yields than similar fixed- rate securities.

Floating rate securities are structured so that the security's coupon rate fluctuates based upon the level of a reference rate. As a result, the coupon on floating rate securities will generally decline in a falling interest rate environment, causing a fund to experience a reduction in the income it receives from the security. A floating rate security's coupon rate resets periodically according to the terms of the security. Consequently, in a rising interest rate environment, floating rate securities with coupon rates that reset infrequently may lag behind the changes in market interest rates.

The market for forward contracts is substantially unregulated and can experience lengthy periods of illiquidity, unusually high trading volume and other negative impacts, such as political intervention. Forward contracts can increase a fund's risk exposure to underlying references and their attendant risks, such as credit risk, currency risk, market risk, and interest rate risk, while also exposing a fund to counterparty risk, liquidity risk and valuation risk, among others.

The risk of a position in a futures contract may be very large compared to the relatively low level of margin a fund is required to deposit and a relatively small price movement in a futures contract may result in immediate and substantial loss relative to the size of margin deposit.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Inflation-indexed debt securities, such as TIPS, are subject to the same risks as other debt securities. Although the holders of TIPS receive no less than the par value of the security at maturity, if a fund purchases TIPS in the secondary market whose principal values have previously been adjusted upward and there is a period of subsequent declining inflation rates, a fund may receive at maturity less than it invested and incur a loss.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

Leverage may result in losses that exceed the amount originally invested and may accelerate the rates of losses. Leverage tends to magnify, sometimes significantly, the effect of any increase or decrease in a fund's exposure to an asset or class of assets and may cause the value of a fund's shares to be volatile and sensitive to market swings.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

A fund that holds cash or invests in money market or short-term securities may be less likely to achieve its investment objective and could lose money.

Mortgage-related securities are more susceptible to adverse economic, political or regulatory events that affect the value of real estate.

The values of municipal securities may be adversely affected by local political and economic conditions and developments. Income from municipal securities could be declared taxable because of, among other things, unfavorable changes in tax laws, adverse interpretations by the Internal Revenue Service or state tax authorities, or noncompliant conduct of an issuer.

There are no government or agency guarantees of payments in securities offered by non- government issuers, therefore they are subject to the credit risk of the issuer. Non-agency securities often trade "over-the-counter" and there may be a limited market for them making them difficult to value.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

Because OTC derivatives do not trade on an exchange, the parties to an OTC derivative face heightened levels of counterparty risk, liquidity risk and valuation risk.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

Preferred securities combine some of the characteristics of both common stocks and bonds. Preferred stocks are typically subordinated to other debt instruments in terms of priority to corporate income, and therefore will be subject to greater credit risk than those debt instruments.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Prepayment risk is the risk that the issuer of a debt security will repay principal prior to the scheduled maturity date. Debt securities allowing prepayment may offer less potential for gains during a period of declining interest rates, as a fund may be required to reinvest the proceeds of any prepayment at lower interest rates.

If a fund's counterparty defaults on its obligations and a fund is delayed or prevented from recovering collateral, or if the value of the collateral is insufficient, a fund may realize a loss.

A fund may be unable to sell a restricted security on short notice or only sell them at a price below current value.

Companies that issue loans tend to be highly leveraged and thus are more susceptible to the risks of interest deferral, default and/or bankruptcy. Loans are usually rated below investment grade but may also be unrated. As a result, the risks associated with these loans are similar to the risks of high-yield fixed income instruments. The senior loan market has seen a significant increase in loans with weaker lender protections which may impact recovery values and/or trading levels in the future.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Investments in sovereign bonds involve special risks because the governmental authority that controls the repayment of the debt may be unwilling or unable to repay the principal and/or interest when due. In times of economic uncertainty, the prices of these securities may be more volatile than those of corporate debt or other government debt obligations.

Swap agreements may involve greater risks than direct investment in securities and could result in losses if the underlying reference or asset does not perform as anticipated. In addition, many swaps trade over-the-counter and may be considered illiquid.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

The purchase of securities on a when-issued, TBA ("to be announced"), delayed delivery or forward commitment basis may give rise to investment leverage and increase a fund's volatility and exposure to default.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan Co., Ltd. is the fund's sub-distributor.

Smith Capital Investors, a registered investment adviser with the SEC, is sub-adviser to the fund(s).

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

The **Bloomberg U.S. Aggregate Bond Index** covers the investment-grade, U.S. dollar-denominated, fixed-rate taxable bond market, including Treasuries, government-related and corporate securities, MBS, ABS, and CMBS.

Teneo Partners

ご留意事項

◆本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

◆ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「ＰＰＭ（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。

◆本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。

◆本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。

◆本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものでは無く、記載内容は予告なく変更されることがあります。

◆本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。

◆ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

◆本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。 又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026082805

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業　関東財務局長（金商）第2315号　加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階　Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp